

予 算 総 括 質 疑 通 告 議 員

令和3年第2回（3月）定例会

- | | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 宮 | 崎 | 淳 | 一 |
| 2 | 天 | 野 | 京 | 子 |
| 3 | 宮 | 澤 | 一 | 照 |
| 4 | 村 | 越 | 洋 | 一 |
| 5 | 岩 | 崎 | 芳 | 昭 |
| 6 | 渡 | 部 | 道 | 宏 |
| 7 | 堀 | 川 | 義 | 徳 |
| 8 | 小 | 嶋 | 正 | 彰 |
| 9 | 高 | 田 | 保 | 則 |

予算総括質疑通告要旨

令和3年第2回（3月）定例会

1 宮崎 淳一

1 行政窓口サービス向上事業について

- 1) スマート窓口システムの運用について、申請・届出書を電子化する事とあるが内容はどのようなか。
- 2) 電子化等により窓口業務の簡素化など将来に向けた展望はどのようなか。

2 関係人口創出・拡大事業について

- 1) テレワーク研修交流施設の整備について具体的な内容はどのようなか。

3 市役所「ゼロ×スマート」推進事業について

- 1) ゼロカーボン関連事業で、本庁舎蛍光灯をLED化とあるが内容はどのようなか。
- 2) LED化をする事による消費電力の削減と費用対効果についてはどのようなか。

4 生活交通確保対策事業について

- 1) 自動車購入費を予算計上しているが内容はどのようなか。
- 2) コミュニティバス運行費について、前年から予算減となっているが内容はどのようなか。
- 3) 路線バスの再編について、代替交通手段の検討とあるが内容はどのようなか。

5 道路新設改良事業について

- 1) 道路改良について道路幅員はどのようなか。
- 2) 通学路の安全確保などを考慮した道路整備を行うとなっているが、降雪期の歩行幅確保についてはどのような考えか。

6 安全・快適住まいづくり支援事業について

- 1) ゼロカーボン推進工事（環境負荷低減や居住環境等の改善工事）について、断熱等の基準の詳細はどのようなか。
- 2) 太陽光発電システムの設置、蓄電池システムの設置とあるが内容はどのようなか。
- 3) 耐震対策工事について、旧耐震と新耐震で補助率の違いがあるが内容はどのようなか。

1 体と心の健康づくり事業について

- 1) 取り組みの多くが講座、研修会、協議会の開催や相談支援などであるが、コロナ禍の中で十分な成果をあげる工夫はどのようなか。
- 2) 自殺対策は孤立させない、孤独にさせないケアと支える活動だと考える。発信力が乏しい小・中学生、高校生の相談支援の内容はどのようなか。

2 すくすく親子健康づくり事業について

- 1) 令和2年度から新たに第3子以降の出産に15万円を上限とする助成事業が始まり令和3年度も継続する。しかし婚姻率や合計特殊出生率が下がっているが、利用見込みの考えはどのようなか。
- 2) 里帰り出産もままならない中、産後ケア促進のためには産前産後の家事・育児などの援助は重要性が増している。産前産後の支援費用助成として1回300円での家事・育児の援助は安価であるが、利用見込みの考えはどのようなか。

3 2050ゼロカーボン推進事業について

- 1) 地球温暖化対策に向き合わず、このまま放置したら2050年の妙高市はどのようなと推測されるか。
- 2) 「生命地域妙高 ゼロカーボン推進宣言」から9ヶ月が経過した。市民生活の中で何を基準に行動すれば良いのかを誘導するのが自治体の使命である。CO2削減に向けて使用するエネルギー、移動手段、購入する商品の選択や未来を託す子どもへの教育などが施策として示された。実効性への課題はどのようなか。
- 3) 入村市長の宣言を受けて、アピールポイントが重要と考える。妙高市ゼロカーボン政策やカーボンニュートラル政策の柱となるものは何か。
- 4) 妙高市内の企業においては国のグリーン成長戦略に則り、脱炭素へシフトしていくことが期待される。地元企業の協力が重要となることから情報交換や連携が必要と考えるが市の考えはどのようなか。

4 障がい者日常生活支援事業について

- 1) 手話奉仕員の役割と窓口配置される手話通訳者の役割の違いはどのようなか。
- 2) 道路交通法に基づく聴覚障害者標識の使用について、認知度が低いと考えるが市の認識はどのようなか。
- 3) 外観からでは分かりにくい障がい者が、周囲の人にサポートされ易くするヘルプマークの普及活動を行っていく考えはどのようなか。

1 スマート自治体推進事業について

個人のニーズに合わせた情報配信の取り組み内容はどのようなか。

2 地域創生推進事業について

- 1) 地域活性化起業人を活用した企業人材の登用を、どのように活かしていく考えか。
- 2) みょうこうミライ会議の取り組み内容はどのようなか。

3 関係人口創出・拡大事業について

- 1) ビジネスマッチング等の推進とは、どのような取り組み内容か。
- 2) テレワーク研修交流施設の必要性及び需要について、どのような考えか。

4 地域のこし協力隊活動推進事業について

地域のこし協力隊は、どのように募集しているのか。

5 観光地域づくり団体支援事業について

- 1) 観光専門員の配置により、どのような取り組みを考えているか。
- 2) 安全・安心な観光地域づくりとは、どのような取り組み内容か。
- 3) マーケティング専門人材の登用により、どのような効果を期待しているか。
- 4) 合宿の郷推進の取り組み内容はどのようなか。
- 5) 妙高ツーリズムマネジメント自主事業の取り組み内容とはどのようなか。
- 6) 妙高ツーリズムマネジメントへの補助金の内容はどのようなか。

6 市債の内容について

- 1) 借換債について。
- 2) 臨時財政対策債について。

1 市役所「ゼロ×スマート」推進事業について

- 1) 本庁舎蛍光灯のLED化による庁内の明るさや照明効果についてどのようなか。
- 2) ペーパーレス化に向けた検討について進め方はどのようなか。

2 広報活動推進事業について

- 1) みょうこう安全・安心メールの活用についてどのようなか。
- 2) 市報みょうこう、市ホームページ、フェイスブックなど、様々な媒体を活用して行政情報の発信や提供をされているが、今後の展開はどのようなか。

3 地域づくり応援事業について

新井南部地区を担当する職員の配置や業務内容についてどのようなか。

4 基礎学力向上支援事業について

GIGAスクール構想により整備されたICT機器による学習の進め方についてどのようなか。

5 生涯学習推進事業について

- 1) SDGsや社会の課題解決に向けた学習の促進についての取り組みはどのようなか。
- 2) コンピュータやモバイル機器等のハードソフトの使い方支援についての考えはどのようなか。

1 2050ゼロカーボン推進事業について

- 1) 市内の二酸化炭素の排出量や再生可能エネルギー普及の現状はどのようなか。
- 2) 地熱利用計画の進捗はどのようなか。
- 3) ゼロカーボン推進条例の第9条「市民等への支援」についてはどのようなか。
- 4) 市民と事業者との協働による「脱炭素モデル地区」を設定してはどうか。

2 六次産業化推進事業について

- 1) 加工用ブドウはじめ、これまでの取り組み（加工用ブドウの栽培、生産量、販売金額）と課題はどのようなか。
- 2) 生産・加工・販売の六次産業化の「加工分野」の展開は、どのように考えているのか。
- 3) ブドウ栽培専門の協力隊員導入について
 - ① ブドウ栽培専門の協力隊員の導入に至った経緯はどのようなか。
 - ② 栽培に従事する場所はどこか。
 - ③ どのようなスキル又は、経験のある人材を考えているのか。
 - ④ ブドウ栽培専門の協力隊員の任務満了する3年後、加工用ブドウ栽培はどのような姿を想定しているか。

3 地域経済活性化支援事業（六十朝市）について

- 1) 出店者数並びに来場者数の推移と現状認識はどのようなか。
- 2) 出店者の確保はどのように取り組みしているか。また、出店奨励の対策を講ずる必要があるのではないか。
- 3) 六十朝市での消費拡大や朝日町・中町商工振興会との連携による消費喚起につながる支援等が必要でないか。

4 観光地域づくり団体支援事業について

- 1) 観光による「稼げる地域づくり」の評価について。
 - ① 二次産業、一次産業等への産業振興及び波及効果はどのようなか。
 - ② 地域資源の発掘と活用はどのようなか。
 - ③ 市内総生産額に対する観光消費額の比率はどのようなか。また、妙高ツーリズムマネジメント設立前とどう変わったのか。
- 2) 妙高ツーリズムマネジメントの自立・自走について。
 - ① 自立・自走のための「自主事業」収入は、どのくらいを見込んでいるのか。
 - ② 自立・自走の目標は、令和何年度を想定しているのか。

1 地域づくり応援事業について

- 1) 担当職員をモデル的に新井南部地区に配置とあるが、既に過去に公民館南支館で活動支援の内容は明らかとなっているため、南部地区でのモデル実施は不必要ではないか。
- 2) 1年でも早く支援が必要な地域が多数あることから、モデル実施期間を設けず、本格実施の方向で進められないか。

2 2050ゼロカーボン推進事業について

- 1) 1千万円という高額な計画策定委託料となっているが、委託先として考えられるのは、どのような実績を持つ会社を想定しているのか。
- 2) 妙高市として、市民の要望・意見をどのように反映させる考えか。

1 職員能力発揮事業について

- 1) 新たな研修の具体的な内容はどのようなか。
- 2) 過去の研修の成果と課題はどのようなか。

2 関係人口創出・拡大事業について

- 1) コーディネート組織運営委託の内容はどのようなか。
- 2) ビジネスマッチング等推進委託の内容はどのようなか。

3 安全・快適住まいづくり支援事業について

- 1) ゼロカーボン推進工事の補助限度額について。
- 2) 従来のリフォーム推進事業との関連について。

4 基礎学力向上支援事業について

- 1) 1人1台端末の活用について。
- 2) 放課後等学習支援の実施の内容について。

1 一般管理事業（財務課）について

建設工事入札参加資格審査では、地域貢献企業対象工事の認定項目として災害応援協定や消防団協力事業所、障がい者雇用、保護観察対象者等の雇用などの認定項目がある。市の施策への積極的な取り組みを進め、市内企業より一層の地域貢献をいただくため、地域貢献企業対象工事の拡大を図るべきでないか。

2 農業振興費（農業振興地域整備計画の見直し）について

農業経営の大規模化やコンパクトシティ推進等により、土地利用のニーズも変化してきている。農業振興地域を見直し、スマート農業による効率的経営と農地の有効利用を進める必要がある。

農用地区域の線引きを見直し、住宅周辺小規模農地を活用しハウス園芸など新たな経営を目指す農家の育成を図るべきでないか。

3 観光地域づくり団体支援事業について

都市と農村交流は農村地域の活性化を目指して事業展開してきたが、観光誘客推進に統合するねらいと推進体制はどのようなか。

4 観光施設整備事業について

高谷池ヒュッテ湧水対策調査の内容はどのようなか。現状の高谷池からのポンプアップによる取水は周辺の植生への影響も大きい。環境調査も併せて行う必要がある。

1) 現状の水使用量と節水対策、削減量をどのように見込んでいるか。

2) 周辺は国立公園特別保護区であり、池・沢などからの取水には生態系への影響を最小限とする必要がある。水源をどのように確保する考えか。

5 妙高ふるさと暮らし応援事業について

農地取得制限の緩和を受け、移住・定住者の増加を図るべく魅力ある空き家物件の掘り起こしと移住希望者への情報提供が重要と考える。

1) 農地付き空き家のニーズ、移住希望者掘り起こしの対策はどのようなか。

2) 既に移住している市民にも自家菜園等の希望がある。対応はどのようなか。

6 新図書館等複合施設整備事業について

新図書館の機能については、令和元年8月に策定された図書館整備基本構想により示されているが、基本設計・実施設計にどのような反映していくのか。

1) 図書閲覧と自主学習・サークル学習の独立したスペース確保、パソコン・タブレット利用者への対応はどのようなか。

2) 市内に分散している近世文書など、歴史的に価値ある図書類の保管も視野に入れた書庫が必要でないか。また資料の活用・公開をどのように考えているか。

3) 妙高、妙高高原図書室との連携、ネットワーク強化はどのようなか。

4) 実施設計を行うにあたって、市民の声・要望をどのように取り入れる考えか。

1 2050ゼロカーボン推進事業について

2050ゼロカーボン実行計画の方針についてどのようなか。

- 1) 国土交通省によると単位輸送量当たりの二酸化炭素排出量が一番多いのは自家用乗用車である。貨物部門においても、自家用貨物車は輸送量当たりの二酸化炭素の排出量が多い。土木、建設業界の運輸や自家用車の二酸化炭素排出量の問題について基本方針はどのようなか。
- 2) 妙高市内の交通について、現在、路線バス、コミュニティバス、タクシー、自家用車等であり、二酸化炭素排出量の多い交通形態となっている。市内交通の問題について基本方針はどのようなか。
- 3) 交流人口、関係人口の拡大を推進していく中で、交通手段の問題についての方針はどのようなか。
- 4) 貴重な動植物保護の観点から一般車の乗り入れ区域設定を行う方針はどのようなか。
- 5) エコカー対策についての方針はどのようなか。
- 6) 世界から愛される妙高を目指し、全ての生命の源となる水資源の保全を図るため、2050ゼロカーボン実行計画では水資源の保全の取り組みはどのようなか。
- 7) 国では国連気候変動枠組み条約事務局へ2030年までの計画を提出したが、妙高市のロードマップ、アクションプランの期間について方針はどのようなか。